

お知らせ

INFORMATION

No.2016-07
2016年3月
病体生理研究所

新規受託開始及検査中止のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。

なお、今回の受託に伴い下記の項目を中止させていただきます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆オステオカルシン〔16970〕 ※項目情報裏面参照

従来はRIA法で実施しておりましたが、検査方法等要項が変更になるため、新規受託とさせていただきます。

《受託開始日》：2016年3月31日（木）より

【検査の受付が中止となる項目】

◆オステオカルシン〔10569〕 …2015年検査案内掲載P.32

《最終受付可能日》2016年3月30日（水）受付分まで

また、下記の項目について、基準値表記を修正させていただきます。

何卒、ご了承いただけますようお願い申し上げます。

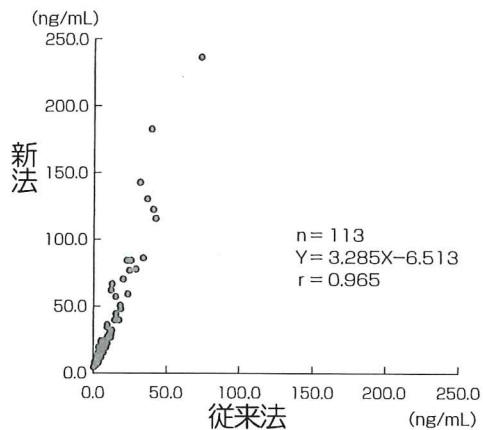
【基準値表記が変更となる項目】

◆Total-P1NP〔16732〕 …2015年検査案内未掲載 詳細裏面

【新規項目情報】

項目名称	オステオカルシン
コード	16970
検体材料	血清 0.3mL
保 存	絶凍
採取容器	No.1 → No.7
検査方法	ECLIA
基準値	男 性： 8.4～33.1 閉経前女性： 7.8～30.8 閉経後女性： 14.2～54.8 ng/mL
所要日数	3～6 日
実施料 (区分)	170 点 (D008 29) ※2016 年 4 月改定
備考	オステオカルシン (OC) は骨芽細胞から分泌され、血中では完全分子のインタクトオステオカルシンのほかに、様々なフラグメント (断片) として存在します。従来の RIA 法ではインタクトオステオカルシンを測定対象としていますが、新法では、インタクトオステオカルシンとフラグメント (N-MID) の双方を認識部位としています。

【新法と従来法の相関図】



【Total-P1NP 基準値表記の変更について】

性別	基準値 (ng/mL)	新表記
男性	18.1～74.1	18.1～74.1
女性閉経前	16.8～70.1	アンナイサンショウ
女性閉経後	26.4～98.2	

以上